

リーディングDXスクール事業【実践事例】

松江市立義務教育学校玉湯学園

【取組内容③】Googleクラスルームを用いた学校外での活動の充実

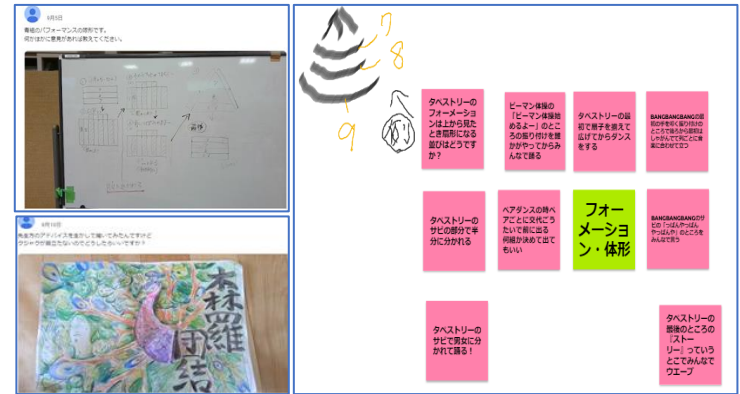
Googleクラスルームを開設し、夏休み中でも教師や児童生徒、あるいは児童生徒どうしがつながり、体育祭や音楽会に向けての準備を進めた。

①体育祭準備での活用

9年生の発案で、体育祭4色（青・黄・赤・緑）のクラスルームを開設し、体育祭の準備で活用した。

クラスルームにデコレーションの図案をアップし、アドバイスをしあった。美術教員が複数校掛け持ちして勤務しているため、クラスルームを活用することで、効率よくアドバイスをもらうことができた。

また、ジャムボードで応援ダンスの意見を出し合ったりするなど、夏休み中に効率よく、児童生徒が主体的に準備を進めることができた。



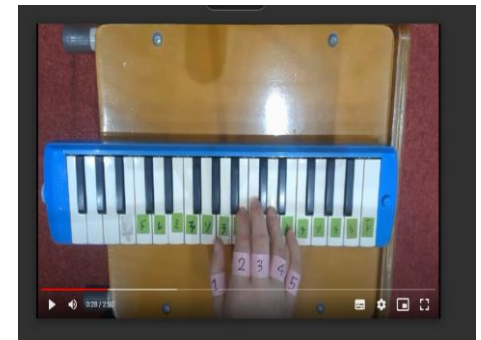
②音楽練習での活用

2学期の文化祭に向けた音楽練習のため、クラスルームを開設した。

教師が弾いた音源動画をクラスルームにアップし、それを夏休み中に聞いたり、手本にして児童生徒は練習した。動画なので、音だけでなく指使いも確認することができた。

何度も見返すことができ、自主練習の助けとなった。進捗状況を児童生徒が伝え、教員がコメントするなど、双方向で関わることができた。

また、7年生の音楽授業では、合唱練習で複数の場所に分かれてパート練習をする際にGoogleミートでつなぎ、離れた場所にいる音楽教員にアドバイスを求めたりして練習する姿も見られた。



時間や場所の制約を受けず意見交流ができることを知った児童生徒たちから、「こういう場面でクラスルームを活用したい」との声があがるようになった。

また、行事や児童生徒会活動等でクラスルームを開設するだけでなく、各教科でのクラスルーム開設へと広がった。